

5年分のデータがあるのに 意思決定に使えない中小企業が陥る 『データの墓場』問題と 脱出法

～90日間でデータを「使える武器」に変えるスプリント型アプローチ～

対象読者

データ活用・経営判断の効率化を目指す中小企業の経営者・管理職

発行

Creative Quest Lab

目次

- 01 中小企業のデータ活用実態 — なぜデータが「墓場」になるのか P.3

- 02 90日間スプリントで「データの墓場」を脱出する方法 P.4

- 03 活用事例：D社（観光農園・カフェ・EC） P.4

- 04 6つの成果物・セルフチェック・無料診断のご案内 P.5

本ホワイトペーパーについて

本資料は、Creative Quest Labが中小企業経営者・管理職の皆様に向けて作成した実践ガイドです。掲載の統計データは公開情報をもとにした参考値です。事例の固有名詞は仮称を使用しています。

中小企業のデータ活用実態

多くの中小企業がデータを蓄積しているにもかかわらず、意思決定に活かせていません。その構造的な原因を理解することが、脱出の第一歩です。

70%

データを蓄積しているが
意思決定に活用できていない中小企業
各種調査参考値

55%

データ品質の問題で
分析の信頼性が低いと回答した企業
本調査推計

3倍

データ活用企業の意思決定速度
(非活用企業との比較)
各種調査参考値

60%

分析ツール導入後6ヶ月以内に
使用停止している企業の割合
本調査推計

「データの墓場」が生まれる3つの構造的な原因

01 データ品質の問題

重複・欠損・表記ゆれが混在し、
分析できても結果を信頼できない

→ 正しい判断の根拠として使えず、データが「飾り」になる

02 分析目的の不明確

KPIと繋がっていないデータ収集が
続き、何のために分析するか不明

→ データが蓄積されても意思決定に繋がらず、工数だけが增える

03 活用体制の不備

データ担当者不在・経営者がデータを見る習慣がなく、組織で使われない

→ ツールを導入しても定着せず、半年以内に使用停止になる

データは「量」ではなく「使える状態か」が重要です。

5年分のデータがあっても、品質・目的・体制が整っていなければ意思決定には使えません。当社のスプリント型アプローチは、この3つを90日間で同時に解決します。

90日間スプリントと活用事例

90日間スプリントで「データの墓場」を脱出する

Week 1-2	Week 3-4	Week 5-6	Week 7-8	Week 9-13
Week 1-2 データ速診	現状データ品質を100点満点でスコアリング。改善優先度を数値で明確化し、着手すべき課題を絞り込む。			
Week 3-4 データクレンジング	重複・欠損・表記ゆれを統一し、分析可能なクリーンデータを構築。信頼できる分析の土台を整える。			
Week 5-6 KPI設計	経営目標から逆算したKPIを設計し、ダッシュボードの指標を確定。「何を見るか」を組織で統一する。			
Week 7-8 ダッシュボード構築	経営者が毎週確認できる可視化ツールを整備。BI活用が「特別なスキルなしで続く」状態をつくる。			
Week 9-13 ロードマップ策定	データ活用を継続・拡張する3~6ヶ月計画を策定。パイロット分析の知見を全社展開につなげる。			

活用事例

D社（燃料・配送業）

顧客114件分の3年分配送データが未活用のまま、慣習で固定された配送周期が過剰配送を常態化させていた。既存データで需要予測モデルを構築し改善。

課題の核心： 配送周期の2週・4週固定で実消費量と乖離し過剰配送が常態化。気温・季節・使用設備データで消費予測モデルを構築し既存Excelで実装。初期IT投資ゼロで即効果を実現。

項目	Before（支援前）	After（PoC完了後）	改善率
配送計画の根拠	慣習・感覚ベース	需要予測モデルで自動算出	—
配送回数（過剰配送顧客）	月8~9回	月5~6回に最適化	約30%削減
過剰配送コスト	月約20万円	月約14万円	-30%
予測精度（MAE）	測定不能	約2L/日（実用水準）	—
初期IT投資	—	ほぼゼロ（既存Excelで実装）	—

「3年分のデータをほぼ使っていなかっただけで、ここまで改善できるとは思いませんでした。Excelで動くので、すぐに現場で使い始められました。」

— D社 経営者

6つの成果物とデータ活用診断のご案内

90日間で受け取れる6つの成果物

<h4>01</h4> <h5>データ速診レビューシート</h5> <p>現状データ品質を100点満点でスコアリング。問題箇所と優先度が一目で分かる。</p>	<h4>02</h4> <h5>データクレンジング計画書</h5> <p>問題データの優先度別修正計画。担当者が迷わず作業を進められる手順書。</p>	<h4>03</h4> <h5>KPIダッシュボード設計シート</h5> <p>経営KPIと指標の対応マップ。「何を・どう見るか」を組織で共通化する。</p>
<h4>04</h4> <h5>パイロット分析レポート</h5> <p>自社データによる仮説検証結果。「数字で経営判断する」ための初めの一步。</p>	<h4>05</h4> <h5>データ活用ロードマップ</h5> <p>3~6ヶ月の段階的なデータ活用拡張計画。継続して成果を出し続けるための道筋。</p>	<h4>06</h4> <h5>分析インサイトサマリー</h5> <p>経営者向け意思決定支援レポート。次の経営判断に即座に使える形で提供。</p>

データ活用度セルフチェック

以下の5項目で「はい」が3つ以下なら、無料診断セッションをご活用ください。

- 主要KPIをデータで週次確認できている
- 意思決定の際に必ずデータを根拠として使っている
- データの定義（用語・集計方法）が組織全員で共有されている
- データクレンジングを定期的実施している
- BI・分析ツールを業務で日常的に使いこなせている

無料・データ活用診断セッションに申し込む

60分のオンラインまたは対面セッションで、現状データをスコアリングした「速診レポート」をその場でお渡しします。
データの墓場から脱出する優先アクションを明示します。

プログラム料金：50~100万円（税別） / 3ヶ月集中プログラム
業種・規模・支援範囲により変動 / 詳細はLPページで確認 / まずは無料診断で概算をご確認ください

今すぐ無料診断を申し込む

担当：久田裕基（中小企業診断士 / 支援実績30社超）
お問い合わせ：info@creativequestlab.com | 受付：平日 9:00~18:00